

Link “新風” Vol.52 (通算 第145号)



明けましておめでとうございます。
新年がスタートしました。皆様におかれましては、どの様な1年にしたいですか？
月並みですが “1年の計は元旦にあり” 物事は最初が肝心！目標を持ってそれに向かって邁進していけたらいいですね。



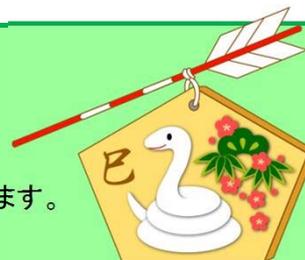
『 Breaking Dawn 』

『今月の表紙』

水平線から昇る朝日。
静かにゆっくりと、でも確実に闇夜を払い、大地を照らしてくれます。
闇夜の日本経済もいつか必ず明けます。
再び光射す時を信じ、夜のうちに身体を休めて力を蓄え、次なる時代を切り拓いていきましょう！

撮影日時：2012年11月24日 撮影者：製造部 石山さん

2013年が輝かしい未来の一步となりますように



みなさんそれぞれの思いを持って新しい年を迎えられたことと思います。
今年が私どもにとって佳い一年になりますように祈っております。

今年巳年。
「巳」は、草木の成長が極限に達して次の生命が作られ始める時期という意味があると聞いています。
混沌とした世界が平和で穏やかになるスタートの年になって欲しいと願うばかりです。

昨年12月16日に投票が行われた第46回衆院選で、2009年に惨敗を喫した自民党が294議席を獲得するという圧倒的な勝利を収め政権奪還を果たしました。2009年に政権を取った民主党は、230議席から57議席に激減し大敗を喫しました。この3年間は我々国民にとって民主党とは一体なんだったのかと問わずにはいられません。どこの政党がやっても同じだという国民の意識を払拭するために、自民党は党利党略を超えて、死に物狂いで日本再生を一步步みだして欲しいと思います。



まずは、多くの国民が望んでいる経済対策を効果的に打ち出して欲しいと考えます。永く続いているデフレにはウンザリです。体内に血液がほどよく循環し健康であるように「お金」がほどよく国民に回るように願いたいものです。太陽光発電・風力発電事業など再生可能エネルギーの推進などに巨額の投資が行われることは、直接我社に仕事の恩恵がなくても市中にお金が循環してくれば経済の活性化に繋がるわけで大いに歓迎です。ただし、一定のところ、一定の人にお金が留まるような愚行は断じて許されないことです。

他にTPPや原発問題も待ったなしの状況です。
私どもは、成り行き任せの国民性をそろそろ変えていかなければ日本も危ういという意識を持って、正しいと思われる認識を持ち、多くの論争を聞いて日本の動きを注視していかなければならない時が来たと考えています。



他国を見ると昨年は、アメリカではオバマ大統領が再選され、中国は習近平氏が総書記に、韓国では朴氏が初めての女性大統領に選出され、ロシアではプーチン氏が大統領に復帰しました。互いに政治、経済にとも多くの難問が横たわっていますが、これらの新しい動きが輝かしい世界の幕開けのキッカケになることを願わずにはいられません。

さて、我社のことでです。
我社も新しい息吹をもたらそうではありませんか。
今、42期を通過中で多くの課題を背負っています。
これらの課題を一つ一つ乗り越えていく力は、これからの赤武エンジニアリング(株)を創っていく中堅・若手のエネルギーが是非とも必要です。
遠慮せず建設的な意見を出して“言われたことだけをやる”のではなく“自分で考え、(必要な意見を求め)具体的な行動に移す”ことに勇気をふるって進んで欲しいと思っています。



必要なことは会社がバックアップします。
中堅、若手、ベテランが三位一体となって、輝かしい赤武エンジニアリング(株)の一步を踏み出して欲しいと願うものです。



社長 赤堀肇紀



今回は正にタイトルどおり、**当社のルーツ**を紐解いてみたいと思います。



◆社名の由来◆

終戦間もないころ、赤堀博氏(赤武株式会社 現会長)と小原氏、小原氏の恩師である武内氏(小田原にあるお寺の住職)の3人で商売を始めたのが源流。

社名は、**赤堀の「赤」と、武内氏の「武」**を取って『**赤武商店**』と名付けられました。

その後、小原氏の資本で赤堀吉弥(先代社長/現社長の義父)・博兄弟が引き継ぐこととなりました。なお、創業当初は機械ベルトの販売業であり、店舗も国道沿いではなく駅南の魚町にありました。

◆赤武エンジの創設◆

昭和40年代、赤武株式会社が当時販売していた排水処理用粉体「高分子凝集剤」を自動的に定量供給・溶解したいという要求がお客様からあり、粉体自動定量供給装置の開発に入りました。

昭和44年(1969年)に機器の商品化にメドがつき[粉体機器部門]を新設、昭和46年(1971年)に赤武株式会社から分離独立し、『**赤武エンジニアリング株式会社**』として発足、水質汚濁防止用機器の販売を開始しました。しかし、会社発足当時はクレームに次ぐクレームで、しばらく苦難の日々が続きます。

そこから改善は進み、当時の下水道事業団にお墨付きをもらい、また水処理プラントメカ各社の設計折込にも成功するに至りました。

このようにして、赤武エンジの礎(いしずえ)は築かれていったのです。

◆赤武マークの由来◆

この赤武マークは、赤武の“**a**”を**アレンジ、デザイン化した**ものです。

太陽を思わせる赤い丸は「赤武の若い情熱とエネルギー」を表し、コバルトブルーの部分は紺碧の海と空、すなわち「豊かさ」と無限」を表し、永遠の繁栄を願う我が社の象徴であります。



赤武エンジニアリング株式会社 航空写真